



雨に関するおすすめの本



たいふうがくる【BL出版】

(作)みやこしあきこ

明日は家族で海!!なのに台風だつて。どんよりしていく空と心。追い払う機械があればとぼくの空想はふくらんで...

子ども目線で低いアングルの絵が、高い臨場感を生んでいます。

あめふりのおおさわぎ【評論社】

(作)デイビッド・シャノン

(訳)小川仁央

雨が降り出した。鶏が鳴き、犬は吠え、赤ちゃんが泣きわめく。車は渋滞、人々は怒鳴り合う。どんどん騒ぎは大きくなって...

どしゃぶりが引き起こす混乱をユーモラスに描いています。最後はハッピーエンド。



かさ【文研出版】

(作・絵)太田大八

傘を抱えて、駅までお父さんのお迎え。一人公園の横を過ぎ、池のカモを眺め、お友達に手を振って...

墨の絵に、赤い女の子の傘が印象的な、文字の無い絵本。

ふれ、ふれ、あめ!【岩崎書店】

(作)カレン・ヘス (絵)ジョン・J・ミューズ (訳)さくまゆみこ

からから天気が続く夏の日。わきあがる雲をみつけて仲よし4人、水着を着て路地裏に集まると...。ぽつり!!空気ひんやり嬉しくて、お母さん達も踊りだす。びしょぬれだけど「生まれたばかりの朝露のような気分」。

ゆうだち【ポプラ社】

(作)阿部肇

ある夏の日、タッチャンが大きなザリガニを釣り上げました。1年生のゆうたも釣ろうとしますが、そのうちゆうだちがやってきてみんなは秘密基地に避難。でもゆうたは...

作者の子ども時代の1コマを描いた作品。昔の田舎の風景がなんとも懐かしく、そして、1年生のゆうたが一人前(?)の仲間になれた誇らしい気持ちが伝わってきます。



かえるのあまがさ【童心社】

(作)与田準一 (絵)那須良輔

おいけのあめふりぴちぱたぽんかえるがあまがさうったときかえるがあまがささすもんか いやいやはっぱのあまがささ

